

新型コロナウイルス感染症平常時対応チェックリスト（通所系施設）

確認者	
確認日	

項目		確認事項	○△×	評価・課題等
管理者		施設のマニュアルを作成し、施設内での対応を確認・検討・共有している。また、定期的に感染対策の研修を実施している。		
		体調不良の職員を休ませた際の勤務シフトや業務配分の調整、人材体制の確保の調整が取れている。		
感染対策	教育	手洗いポスターの掲示や標準予防策の対応の周知など共有している。		
	早期発見	職員は自身の健康管理に留意し、出勤前等に体調を確認している。また、体調不良時の相談体制や出勤を控える等の対応を事前に検討している。		
		利用者に対し、通所や登園などの利用前（送迎車の乗車前も含む）に、発熱や体調不良の有無を確認している。また、状況に応じて利用を見合わせている。		
		利用者、職員で体調不良者がいる場合、早期にかかりつけ医等の医療機関に相談・受診するなど周知している。		
	換気	施設内や送迎時に2方向の窓（対角が望ましい）を、1時間に2回以上、数分間程度全開にしている。また、換気の流れがうまくいかない場合は扇風機やサーキュレーター等を活用し効率的に換気を実施している。		
	消毒	手指	施設やトイレの入り口等にアルコール性手指消毒剤を設置（または職員は携帯用の消毒剤を使用）している。	
		環境整備	手すりやドアノブ等の高頻度で触る場所は、アルコールや次亜塩素酸ナトリウム等で1日1回以上消毒をしている。	
	マスク	送迎車内や施設内での適切なマスク着用（鼻や口を覆う、顔に密着させるなど）を協力をお願いしている。また、飛沫が多い利用者のケアを行うときは、フェイスシールド等の着用を考慮している。		
	サービスの運営	多数の利用者の集まりや密に接触するようなイベントは控えたり、他施設の利用者とは導線を分けたり、対策を講じての運営を検討している。		
	職員の休憩時等の過ごし方	休憩室や更衣室でも感染対策（会話時はマスクを着用する、休憩室など時間帯をずらすなど）を実施できている。		
	資材確保	マスク、消毒液、手袋、ガウン等が確保できている。また不足した時の対応（手配先、代替え品等）を決めている。		

施設の感染症の予防、拡大防止のための対応は、**職員全員で取り組むことが大切です。**陽性者が発生する前から、各施設の「生活の場」の実態に合わせたマニュアルを作成し、全体で共有しておきましょう。

